

|    |
|----|
| 区分 |
| 砂防 |

|        |                        |
|--------|------------------------|
| R3年度完成 | 事業名：単独砂防施設事業（砂防）白狐沢人道橋 |
|--------|------------------------|

|     |         |
|-----|---------|
| 所属名 | 沼田土木事務所 |
|-----|---------|

### 1. 事業概要

【河川名】赤谷川支川 白狐沢  
 【箇所】利根郡 みなかみ町 須川 地先  
 【概要】人道橋架け替え  
 橋長L=9.44m  
 幅員W=1.70m

利用者の安全性を確保するため、老朽化した人道橋を架け替えたものである。



### 2. 現場の特徴【ステップ1】

・白狐沢人道橋は、砂防事業の機能補償として白狐沢を渡るために砂防堰堤に架けられた橋である。  
 ・周辺には観光客が訪れる泰寧寺(山門等が県重要文化財指定)やたくみの里等が隣接している。

### 3. 事業目的【ステップ2】

- ①現場から何をさせるのか  
 ・観光スポットである泰寧寺やたくみの里を見せる
- ②どこから現場自体を見せるのか  
 ・人道橋の利用者(歩行者)  
 ・周辺施設(泰寧寺の参道、たくみの里)
- ③目指すべき目標像  
 ・重要文化財の泰寧寺は歴史的価値が高く、また自然豊かな立地に建立されている。  
 ・歩行者の安全性を確保したうえで、歴史、自然に調和したデザイン、構造とするとともに、個性豊かな公共空間を創生することで、地域の観光産業への貢献を図る。  
 ・町や寺、地域住民との合意形成を図ったうえで整備を行い、協働による維持管理体制を構築する。

### 4. 配慮内容【ステップ3】(完成) (整備前後の写真やコメント等)、計画済・計画中 (想定される内容) >

#### 【整備前】



#### 【整備後】



高欄は、寺社仏閣として景観性を重視したデザイン

#### 【配慮事項】

歩行者の安全性を確保するため鋼床版部の地覆、高欄をコンクリート床版部まで延長

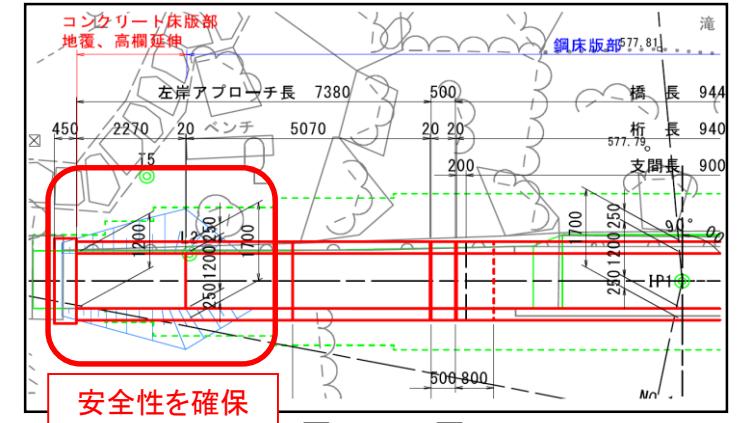


図1 平面図

地域住民等の関係者に対して橋梁のデザインや構造、周辺環境との調和性が、より把握しやすくなるようにパース図を作成

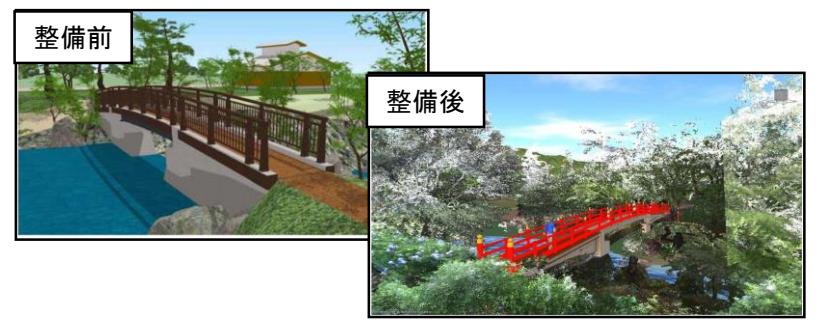


図2 整備前後のパース図